

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本新築株式会社 小田原総合製剤工場 核酸棟建設プロジェクト	階数	地上3F
建設地	神奈川県小田原市桑原字中川原676-1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年6月8日
敷地面積	5,386㎡	作成者	日揮(株) 三田村 禎宏
建築面積	2,229㎡	確認日	2022年6月10日
延床面積	4,584㎡	確認者	日揮(株) 平野 実紀雄

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
生産工程に沿った合理的な施設計画	特になし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 維持管理、メンテナンス性の向上 系統別に制御された空調換気システム 電気関係は地上階に置き、浸水の対策を取っている
Q3 室外環境 (敷地内) 生産性を意識した屋外動線	
LR1 エネルギー LED照明設備の全面採用、モニタリングの実施	LR2 資源・マテリアル 部材の再資源化が可能な躯体・軽鉄・仕上げ材を区分した工法を採用
	LR3 敷地外環境 既存施設を妨げない配置計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される